



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



毛玉を作らないために...

◆着たあとにブラッシング

ブラッシングをすると軽い絡まりが取れるため、毛玉防止になります。デリケートなものにも使える馬毛のブラシがおすすめ!

◆続けて着ない

連続着用は生地への負担になる上、同じところに摩擦が起きると毛玉ができやすくなるため、1回着たら2~3日休ませましょう。

◆洗濯ネットを使う

洗濯時の摩擦も毛玉の原因になるため、ネットを使って摩擦の少ない洗濯を心がけましょう。

毛玉を取るのには、少しずつ生地を減らしているのと同じこと。「できたら取ればいい」ではなく、できる前に予防して、大切な洋服を長持ちさせたいですね。

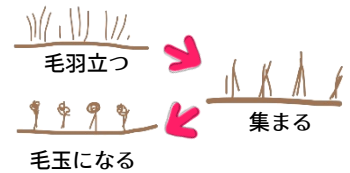
やっかいな毛玉、どうしたらいい?



お気に入りの洋服に毛玉ができて、困ってしまった経験はありませんか?コートやセーターなど、寒い時期に活躍するアイテムは、特に毛玉に悩まされることが多いアイテム。毛玉のできる仕組みを知って、毛玉になりにくい服選びを実践してみましょう。

毛玉ができる主な原因は、摩擦と静電気です。

- ① 摩擦によって生地が擦れて毛羽立つ
- ② さらなる摩擦や静電気によって毛羽立った繊維が集まる
- ③ 集まった繊維が絡まり、毛玉になる



毛玉=毛羽立った繊維が絡まったもの。毛足の長いものは毛羽立ちやすいため、毛玉になりやすいと言えます。アクリル・ポリエステルなどの化学繊維も、ウール・カシミア・アンゴラなどの天然繊維も、どちらも毛玉ができやすい素材です。化学繊維は強く切れにくいので、できた毛玉が自然に脱落することはありません。一方、天然繊維は毛玉ができて取れやすい性質があります。天然繊維の中でも特に毛玉ができにくいのは、表面がなめらかで絡まりにくいアルパカ・モヘア・コットン・シルク・リネンです。化学繊維との混紡ではない、素材100%のものを選ぶとよいでしょう。また、「アンチピリング加工」と記載されている場合は毛玉になりにくい加工がされているため、選ぶときにタグを確認してみてください。

摩擦だけでなく、静電気も毛玉ができる原因となるため、重ね着をするときの素材の組み合わせもポイントになります。繊維には、プラスに帯電しやすいもの・マイナスに帯電しやすいもの・帯電しにくいものがあり、マイナスとプラスが離れれば離れるほど静電気が強くなります。同じ素材か、隣り合ったもの(近いもの)同士、または綿や麻などの帯電しにくい素材と組み合わせることで、静電気の発生を抑えることができ、毛玉予防にもなります。

← +に帯電しやすい			帯電しにくい			-に帯電しやすい →												
人毛・毛皮	ウール	ナイロン	レーヨン	シルク	コットン	リネン	人などの皮膚	ガラス繊維	アセテート	紙	ゴム	ポリスチレン	白金	ポリプロピレン	ポリエステル	アクリル	セロファン	塩化ビニール

私たちの肌や髪の毛はプラスに帯電しやすいから、近い繊維を選ぶと静電気が起きにくいってことなのね!



営業案内 (赤い日は休み)

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

※休みや営業時間は変更になることがあります

エネルギー価格高騰への対応について

生活に必要なものが値上がりし続け、家計を圧迫していますね。「クリーニング代も上がりますか?」と聞かれることが多くなりました。紺新では、当面は現状価格でやっていきたいと考えております。機械の稼働時間・稼働日を限定したり、作業の段取りを一から見直すなど徹底的なコストダウンを図りつつ、仕上がり品質を維持できるよう努めています。仕上がりまでの日数が以前より少し長くなったり、翌日仕上げ(特急の受け入れ)ができなくなったりと、お客さまにはご不便をおかけすることもあります。このような背景があつてのこととご理解いただけましたら幸いです。

年末年始休業のお知らせ



12月31日(土)~1月4日(水)まで年末年始休業とさせていただきます。

お急ぎについては、事前にご相談・ご予約をいただくことでスムーズな対応が可能です。店頭・お電話・メール・公式LINEアカウントなどからどうぞ。